

広報誌

ペケレベツとは

アイヌ語で「明るく清らかな川」を意味しており、清水町の由来となっています。

2026年
春号
vol.40

ペケレベツ



院長新年度挨拶 トピックス

新事務部長就任

新人紹介

札幌ハートセンター

厳冬期訓練に参加してきました

趣味のお話し「登山」

人事消息

編集後記



“団栗の背比べ”を知らぬ人はいまい。どれもこれも似たり寄ったりで抜きんでたものがないことを指す古くからの例えであるのだが同様の言い回しは世界各国にもあるようで、このような感覚は世界共通なのであろう。お隣の中国には“五十歩百歩”という諺があり似たような言い回しを探せばきりが

しかし、どんぐりは本当に似たり寄ったりなのであろうか？

私は数年前から秋の通勤路にばらばらと落ちているどんぐりを拾って検証している。まずそれらを水に浮かべ沈むものだけを選別するのだが、およそ2割が脱落する（一次トリージ）。その後、乾燥しないように濡れた紙に包んだあとチャック付きビニール袋に入れ冷蔵庫で3-6か月ほど寝かせる。このようにして人工的な冬眠を作り出す。そのうち根が出たものは、ポットでの水耕栽培へと移していく（二次トリージ）。根はみるみるうちに伸長し、やがて根毛がふさふさしてくるのだが、そのあと発芽するものもしないものもあり、また発芽してもすぐに枯れてしまうものもある。このようにして根も葉も生えたものはようやく土を満たした植木鉢に移植することができる。

面白いことに水耕栽培で根だけが伸びたあと数年間全く変化がないどんぐりが、ある日突然成長をはじめ茎や葉が伸びてくることがある。いうまでもなく、根しか生やさないどんぐりを成長しないものとして判断するのは早計で、どんぐりの成長を見極めるには数年では足りない。中国の「老子道德経」には大器晩成という言葉がある、大きな器は完成に時間がかかるのである。また、「能ある鷹は爪隠す」というのもある。のちのち大きく成長するどんぐりはもしかしたら成長する機会をじっと伺っているのかもしれない。ちなみに、自然落下したどんぐりが落ちた場所で発芽し成長することはほとんどない。乾燥した環境や動物や寄生虫による捕食によりほとんどが生命を停止する。どんぐりの発芽と成長には環境因子も大きく関与するのだ。

自然の摂理とは全く人知の届かぬものである。今年も多くの新入職員が仲間に加わっていただいた、それぞれ違った時間をかけても良い環境の下で甲乙つけがたい人材に成長してくれることを切に願う。思い起こせば私も35年前に木からぽとりと落ちた多くのどんぐりのひとつであったのである。



新事務部長就任

事務部長
中島 雅己

就任挨拶

4月1日付で清水赤十字病院(以下「当院」)の事務部長を拝命いたしました中島雅己(なかじま まさき)と申します。西十勝地域の基幹病院である当院において、このような大役を仰せつかり、大変光栄であると同時に身が引き締まる思いであります。

現在、医療を取り巻く環境はかつてない転換期にあります。新型コロナウイルス対応の補助金が終了する一方で、急激な物価高騰や賃金上昇が経営を強く圧迫しています。また、少子高齢化と人口減少に伴う働き手不足は、地域全体の深刻な課題です。

さらに、2040年を見据えた新たな地域医療構想に向け、各医療機関の役割と機能の明確化が急務となっております。

これらの激変する環境を乗り越え、当院が西十勝地域の基幹病院としての使命を果たし続けるため、以下の3点に重点的に取り組みます。

1. データに基づく経営基盤の強化

データに基づき地域で求められる医療ニーズを的確に把握し、当院の機能を明確化します。本年度の診療報酬改定(改定率+3.09%)の趣旨を的確に捉え、物価高騰や賃上げに耐えうる経営基盤の構築を目指します。

2. ICT活用による業務効率化と人材確保

デジタル技術を積極的に活用し、現場の業務負担を軽減します。これにより医療の質を向上させるとともに、職員が働きがいのある環境を整備し、地域における人材の確保と定着を図ります。

3. 包括的な医療・介護連携による地域創生への貢献

外来・在宅医療、そして介護施設とのシームレスな連携体制の構築を目指します。地域住民が安心して暮らせる医療提供体制を確立することで、清水町をはじめとする西十勝地域の地域創生に貢献します。

私は旭川赤十字病院に入職し、これまで釧路、北見の各赤十字病院で勤務してまいりました。これまでの経験を生かし、微力ではありますが皆様のお力をお借りしながら「持続可能な病院経営」と「医療を通じた地域創生」の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

皆様の温かいご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

新人紹介

質問 1 お名前 (ふりがな)

質問 2 所属部署

質問 3 出身地 (都道府県 市町村名)

質問 4 My hobby

(趣味ですので勿論複数回答構いません。
Indoor or Outdoor or etcetera!!)

質問 5 自分はどういう人間?

(例: 動物に例えると、などですが「アニ
オタです!!」と公言してもらっても全然
OKです。)

質問 6 抱負

(これから何をしたいのか、こういう目標
があります!など)

①伊藤 千夏

②2階病棟

③福岡県

④去年始めた登山、
散歩、アニメ

⑤ISFP。熱しや
すく冷めやすい

⑥将来は国際救急部に入りたいです。産婦
人科で若い方ばかりみてきたので、高齢
者看護は慣れない事ばかりだと思います
が宜しくお願いします。



①笠原 咲月

②2階病棟

③名寄市

④食べる事

⑤物事は慎重に進
めるタイプです

⑥まだ未熟な部分が多いですが、多くの学
びを吸収して現場で活かしていきたいです。
地域の方々や周囲へ信頼される人間にな
れるよう頑張ります!



①高村 瑠夏

②3階病棟

③幕別町

④音楽鑑賞

⑤神経質

⑥1つ1つ技術を身に着け、患者さんと向き合
うことができること、患者さんから「ありが
とう」と言われるように信頼関係を持つこと
ができること、を目標にして頑張りたいです。





① ^{たかぎ くみこ}高木 久美子

- ② 3階病棟
- ③ 神奈川県横浜市
- ④ LIVEに行く
- ⑤ すごく人見知り



⑥ 清水赤十字病院に貢献できるように頑張ります。北海道の生活も楽しみたいです！

① ^{おざわ のあ}小澤 希歩

- ② リハビリテーション技術課
- ③ 音更町
- ④ サッカー
- ⑤ 韓国が好きです ((^^))



⑥ 災害時などにも地域の方々の安心した生活を支えられる理学療法士になりたいです。

① ^{おおたに ゆうこ}大谷 柚子

- ② 検査技術課
- ③ 帯広市
- ④ TWICE が好きです！ライブに行ったり、動画を見たり
- ⑤ 柴犬みたいな感じ(?)
- ⑥ いつか認定資格を取りたい
心電図検定も受けたい



① ^{るいけ あゆむ}類家 歩

- ② 放射線技術課
- ③ 鹿追町
- ④ キャンプ、音楽
- ⑤ かなりマイペース



⑥ お金を貯めてランクルを買いたいです！！立派な技師になれるよう頑張ります！！

① ^{いとう さとる}伊藤 訓

- ② 事務部
総務企画課
- ③ 上川郡清水町
- ④ ゴルフ、野球観戦、釣り
- ⑤ 特になし



⑥ 報恩謝得の気持ちを大切にす

① ^{なかしま まさき}中島 雅己

- ② 事務部
- ③ 中富良野町
- ④ 読書、旅行、食べ歩き飲み歩き (美味しいお店に連れて行って下さい)



⑤ 早起き (ウォーキングでもしようかと…)

⑥ 病院の健全経営に貢献できるよう頑張ります。

札幌心臓血管クリニックにおける

取り組みのご紹介

札幌心臓血管クリニック 理事兼 CCMO

佐藤 勝彦

本年4月より、第2、第4木曜日の循環器内科出向外来を担当させていただくこととなりました医療法人札幌ハートセンター、札幌心臓血管クリニックの取り組みなどについてご紹介申し上げます。

当院は2008年4月に創業者の藤田勉により開院し、現在は循環器内科（医師23名）、心臓血管外科（同10名）、麻酔科（同4名）を標榜する109床の病院です（鹿島由史理事長、八戸大輔院長）。

当院の目指している医療は患者さんの身体に負担の少ない「低侵襲治療」です。可能な限り「早期の診断・治療」のうえに「早期離床・退院」に繋げ「早期の社会復帰」に注力しております。

診断においては3台のマルチスライスCTを駆使し1日数十件の冠動脈CTで心筋虚血スクリーニングを行い、20台以上の心エコー器機で心不全や弁膜症を診断しています。

治療においては冠動脈疾患のカテーテル治療は年間2,500件前後を施行し、全国でもトップクラスの症例数を誇っており、近年では重症大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル大動脈弁置換術（TAVI）も年間200例前後、僧帽弁閉鎖不全症に対する経皮的僧帽弁接合不全修復術（M-TEER）も年間40例前後の実績があります。これらの低侵襲手技により、重症弁膜症による心不全に対する治療成績は飛躍的に向上し、かつ入院日数も著明に短縮されました。心臓血管外科においては、胸骨正中切開による開胸手術を可能な限り避け、肋間を数センチ切開し、小さい視野で弁置換や弁形成術を行う「低侵襲心臓手術（MICS；ミクス）」を積極的に採用しており、またロボット（ダ・ヴィンチ）支援によるバイパス術などの経験も豊富です。これにより胸骨切開に伴う術後疼痛や感染症、退院後の生活制限などから解放され、疼痛や運動制限なく早期に社会復帰が可能となりました。また心房細動患者における心原性脳血栓症の予防目的で左心房内の左心耳を切除／閉鎖する治療や若年性脳梗塞の原因の一つである卵円孔開存症や心房中隔欠損症に対するカテーテル閉鎖術など成人の先天性心疾患にも対応しております。その他、大動脈瘤に対するステント内挿術や不整脈へのカテーテル治療（アブレーション）も道内一の症例経験数を誇っております。

また当院のもう一つの大きな特徴は車輻送迎システムによる「機動力」です。当院は救急車3台を含む30数台の患者送迎専用車輻を有し、それを20数名の専任運転手が運行しております。これにより札幌市内のみならず、全道各地からのご紹介患者を送迎することが可能です。「いつでも、どこまでも、どんな症例でも」お迎えに行ける機動力は他院の追従を許さない当院の強みでもあります。

これからも貴院との強固な医療連携を通じて、地域の皆様の健康維持に少しでも貢献できますよう日々注力いたしますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



2026年6月より赴任
榎本守雄先生



札幌心臓血管クリニック全景



厳冬期訓練に参加してきました

リハビリテーション技術課
西島 愛茄

厳冬期災害演習に参加させていただきました。一段と寒さが増す1月に行われた演習でしたが、参加者の皆様と協力し乗り越えることができました。実際の災害時を想定した避難所の設営・利用は、想像よりはるかに心身共々負担がかかりました。段ボール・スチールベッドでの就寝や仮設トイレでの排泄を体験し、避難所生活での困難さが身に沁みた2日間となりました。一方で、足の濡れない足湯体験やテントサウナなど、簡易的な暖をとれたり、バッテリーを用いた電子レンジの使用による、暖かい食事をいただくことができました。また、この演習の中で、実際の災害時に自分の知識や経験を活かせる場面はないかを探す、貴重な体験となりました。日本赤十字北海道看護大学災害対策教育センターの皆様、貴重な経験をありがとうございました。



趣味のお話し「登山」

事務部
才野 桂司

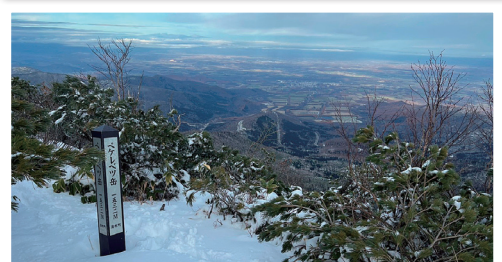
初めまして清水赤十字病院の才野です。用務を担当しています。毎朝出社するたびに、必ず日高山脈を目にする。特に職場からの真正面はペケレベツ岳である。この山は夏山3回、冬山2回アタックしました。私としては、冬山が好きで、確かに怖いけど何回も登ってもあきません。自分はどうしても困難なら「やめる勇気」で直ちに下山する事を決めています。せっかく来たから無駄にしたいくないとか、あともう少しで頂上だという迷いは誰でもあります。一番大事なのは無事に帰ってくる事が理想です。

私の登山のきっかけは、皆さまが笑うかもしれませんが、数々の就職に全滅のため、ヤケクソで登り始めました。ふつうは健康で木と花を見たり風景を眺めるのです。

私は全滅で悔しくて、ただ、ただ登るだけ....。

頂上に立った時、とても清々しい気持ちになれて下界よりすごく別格で見れて誠に感謝です。

今も身体と相談しながら、登り続けていく。



人事消息

【医師派遣】

福岡赤十字病院

1月5日(月)～1月15日(木)岡部 安博
1月16日(金)～1月30日(金)小林毅一郎
2月2日(月)～2月13日(金)小倉 康裕
2月16日(月)～2月27日(金)小田 康德
3月2日(月)～3月12日(木)井上 重隆
3月13日(金)～3月31日(火)松田 圭央

【内科専攻医】

北海道家庭医療センター

10月1日(水)～3月31日(火)敦賀 梨帆

愛知医療センター 名古屋第二病院

2月2日(月)～2月27日(金)中野 阿美
2月3日(火)～2月27日(金)和田 拓也

【臨床研修医】

仙台赤十字病院

1月5日(月)～1月30日(金)安藤隼太郎

深谷赤十字病院

1月5日(月)～1月30日(金)伊藤 大悟

愛知医療センター 名古屋第二病院

1月19日(月)～2月6日(金)不殿 泰徳
2月9日(月)～2月20日(金)井上理香子
2月16日(月)～3月13日(金)小牧 志帆

釧路赤十字病院

2月2日(月)～2月27日(金)工藤 大樹

沖縄赤十字病院

2月2日(月)～2月27日(金)野原 海灯

【医学生】

旭川医科大学 1月 1名
2月 1名
3月 2名

編集後記

新年度が始まったかと思えば、あっという間にひと月が終わり、学生時代には一年が長いと思ひながら日々過ごしていましたが、年々一年が過ぎるのが早く感じてきています。私の娘も来年には小学校への入学もあり、ランドセルの準備をしたり、自転車の練習をしたりと日々の子供の成長も楽しみながら、一年が早く感じる中で私自身も新しく何かにチャレンジしたり、自分自身も成長できるよう過ごしていきたいと思っています。

リハビリテーション技術課 清野浩平

❖ 編集・発行責任者：中島 雅己

❖ 編集委員長：清野 浩平

❖ 発行元：清水赤十字病院

❖ 印刷：東洋株式会社

〒089-0195 北海道上川郡清水町南2条2丁目1番地 TEL 0156-62-2513 FAX 0156-62-4460

URL <https://www.shimizu.jrc.or.jp/> MAIL contact@shimizu.jrc.or.jp